

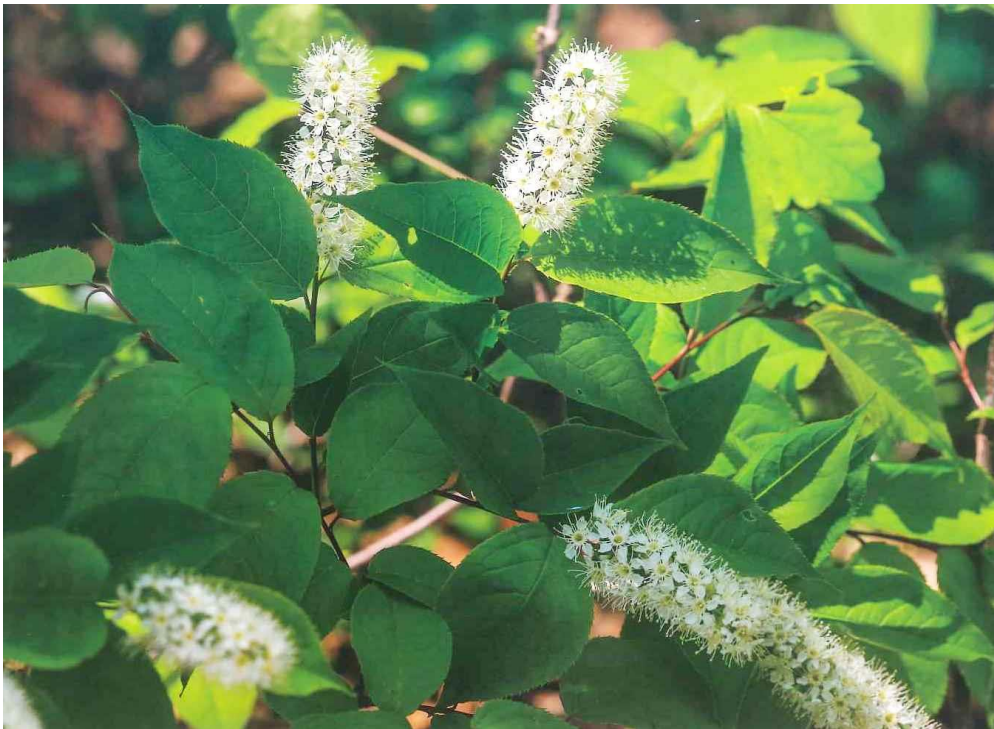


医療法人碧水会
汐ヶ崎病院

さざなみ

令和 6 年
春夏合併号
第 76 号

〒311-1115 茨城県水戸市大串町 715 番地
TEL (029) 269-2226 FAX (029) 269-4387
<https://shiogasaki.net>



見上ぐれば上溝桜吹かれおり
うわみずざくら

写真：坂本 伸一郎
俳句：中村 恭子

目次 contents

- 表紙・目次-----1P
- 事務長退任紹介・
事務長就任挨拶-----2P
- 行動制限最小化に対する
当院の取り組み-----3P
- 学術教育研修会 薬剤師
部門 参加報告-----4P
- 院長の本棚-----5P
- レク行事紹介-----6~7P
- 玄関飾り・お知らせ-----8P
- スタッフルーム・
新任職員紹介 -----9P
- 診療案内・汐ヶ崎ガーデン・
表紙解説・編集後記-----10P

基本理念

わたしたちは、こころを病む方や家族の皆様にご安心いただけるよう、
よりよい精神科医療を提供し、地域に信頼される病院をめざします。

事務長退任紹介

瀧事務長は平成6年6月汐ヶ崎病院に入職し、総務・医事の職務を遂行され、平成24年6月に事務長に就任されました。

当院は令和元年5月に新築しましたが、着工から完成まで事務長がご尽力されたことは言うまでもありません。

29年9ヶ月と永きにわたり勤続し、令和6年3月にご退任されました。

長年のご功績に心より敬意を表します。



前事務長：瀧 敏彦



事務長就任挨拶

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、瀧前事務長の後任といたしまして、事務長に就任しました鈴木と申します。もとより身に余る重責ではございますが、当法人の理念である「より良い医療を提供し、地域に根差した病院を目指す」を念頭におき、患者様はもちろんのこと、地域の皆様に少しでもお役に立てるよう、また、職責を果たせるよう努力を尽くす所存でございます。



事務長：鈴木 崇志

現下、病院や医療を取り巻く環境は厳しさを増しつつありますが、地域の皆様に信頼され安心して利用していただける病院として、上述の理念のもと、その機能を果たしていかなければならないと私なりに感じております。つきましては、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

行動制限最小化に対する当院の取り組み

身体拘束という言葉を目にしたことありませんか？身体拘束は患者さんをベッドに固定し身体的に拘束をすることです。制限の程度が強く、二次的な身体的障害を生ぜしめる可能性もあります。当院は患者さんに、転倒リスクを念頭に置いた身体的拘束を行わないことで以前より身体的拘束は減少しています（※表1参照）。その分、患者さんの転倒転落リスクは高くなります。患者さんやご家族へは「説明と同意」を大切に、看護スタッフは患者さんと接する時間を多くし、観察も工夫しながら寄り添い、ケアの向上に努めています。

日本では、精神保健福祉法に基づいた精神科の身体拘束は1万1千人。精神科とは別に、厚労省の班研究で施設内拘束は6万人と言われていています。



※表1
（当院の隔離・身体拘束の推移：
行動制限された延べ人数）

当院の取り組みとして、看護スタッフが患者さんの問題にだけ目を向けるのではなく、その患者さんの強みに焦点を当て、患者さんに関心を向け、意識と行動を変えて取り組み、患者さんを理解し、理解した内容をスタッフ全員で共有することを大切にしています。対象理解ができることで、以前は問題としてとらえていた患者さんの行動も、その人なりの意味があつての行動であることに気づける看護スタッフが増えています。その結果、身体的拘束の回避や、行動制限最小化の実現・実践に繋がっていると考えています。

ただし、身体的拘束を全くしないわけではありません。精神保健指定医が治療上必要だと診断した場合、身体的拘束は行います。あくまでも最小化に取り組み、共通認識のもと不必要な制限はしないというのが当院の考え方になります。

患者さんに必要な制限がされた場合には「いかに早く解除するか」を主治医や多職種と日々検討し、リスクアセスメント・マネジメントし、患者さんへの理解を深め、制限理由を明確にし、解除までの目標を共有することを大切にケアしています。

引き続き行動制限に頼らない看護の実践を意識し、看護の力で行動制限を回避していくこと、経験したことをフィードバックし積み重ねながら、行動制限最小化に取り組んで参ります。

看護部長：人見 和宏

日本精神科医学会 学術教育研修会 薬剤師部門参加報告

令和6年1月13日・14日の2日間、甲府市の山梨県立図書館を会場に『RELEARN 薬剤師として精神科医療を学び直す』をテーマに、日本精神科医学会学術教育研修会薬剤師部門が開催されました。

私は薬剤師として精神科医療に携わるようになり25年になりますが、その間、精神科薬物療法や次々に登場する新薬についての知識を得ることに精一杯で、『RELEARN(学び直し)』することはなかなかできませんでした。しかし、精神科医療の歴史やこれからの精神科薬物療法の方向性、向精神薬の適正使用について聴講し、これまでの日常業務を振り返り、これから目指すべきことを考えるよい機会となりました。

また、学生のときに学んで以来の統計学についてもわかりやすく解説していただき、論文の数字やグラフの見方を改めて理解することができました。

新型コロナの影響でこの研修会はここ数年 WEB 開催でしたが、久しぶりの現地開催で全国から参加した方々と直接交流できたので、会場は大いに盛り上がりました。

ランチョンセミナーでは甲州弁について面白おかしく紹介されました。NHKの朝ドラ『花子とアン』のファンだった私は「てっ!!」や「こぴっとしろし!!」などの甲州弁のフレーズが大好きだったので、この甲州弁講座はとても興味深かったです。



初日最後の発酵学についての講義では、醸造や食品、化粧品、薬品など様々な分野での可能性があるとお話がありました。2種類の甲州ワインの紹介(試飲付き)もあり、近くの席の方たちと味の感想をソムリエ気分語り合いながら、勧められるがままにお代わりしてしまい、ほろ酔い気分での研修会参加が出張(仕事)であることを忘れそうになりました。

甲府市は山々に囲まれた甲府盆地にあり、周りに目を向けると標高日本一の富士山や第2位の北岳、第3位の間ノ岳などの数々の名峰が見渡せるうらやましいほど贅沢な眺めでした。



甲府駅前の武田信玄像



日本一の富士山



南アルプスの山々

2日間の研修会はとても濃厚な内容で、これまで自分が得た知識とこれから取り組むべきことの再確認ができたので、今後の業務に生かしていきたいと思えます。

美味しいワインと美しい南アルプスの山々にも心癒された充実した2日間になりました。

薬剤師:市原 直美



「日本婚活思想史序説」

佐藤 信 著

東洋経済刊 2019年発売

新刊ではありませんが、興味深い本を見つけたのでご紹介します。

東大の先端研に所属する政治学者の視点で書かれた婚活の歴史概観と現状理解の本です。1970年代からの女性雑誌の記事を元に当時の婚活の状況や現在に至る流れを見る、という手法は政治学者ならではかもしれません。

発行元からのキャッチフレーズを見れば内容がおおよそ分かります。

『いい結婚って、何？

結婚ってしなきゃいけないの？

働きたくないから専業主婦はアリ？

自分にあった生き方&パートナーはどうやって見つける？

婚活論とは人生論であり、仕事論であり、またこの少子化日本においては国家論ですらある。

東大先端研の政治学者が全力で平成・昭和の婚活を研究した渾身の一冊！』



結婚に関する考え方の変遷だけでなく、結婚相手を探すという婚活の根本目標のための手段が時代とともに大きく変わってきていることも指摘されています。過去には、目がとどく範囲で候補者を探しており、仲人（仲介）を買ってでる人たちの視野からはなれた人物は浮かびにくかったのですが、現代のIT社会では、電子媒体での婚活が中心となり、その範囲が圧倒的に広がっています。その反面、膨大な数の釣書を読みくらべるようになり、婚活がまるでマーケティング・リサーチになってしまっており、よりよい条件をもとめる余り、かえって選り好みの度を強め、ますます縁遠くなっていく、という現象が見られるとの指摘もあります。さもありません、です。

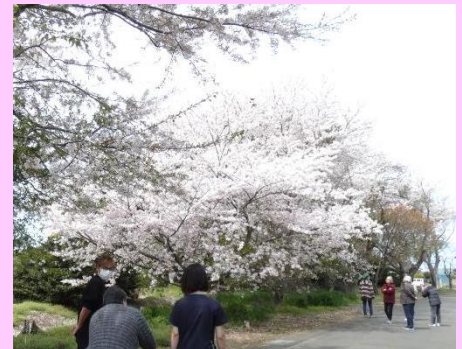
結婚年齢の上昇、少子化、そして高齢化について新たな視点を与えてくれる著書です。

レク行事紹介



2月

調理活動で「ホットケーキ」と「フルーチェ」をつくりました。混ぜる・焼く・盛り付ける等作業を分担して、美味しいデザートが出来ました。



各病棟でお花見へ行きました。

3~4月

↑大串貝塚公園の園内を散策

病院の敷地外をお散歩 ↑



5月

体育館にて出張移動販売。季節に合わせた衣類等をショッピングしました。



6月

各病棟のデイルームにて、スポーツ大会を実施しました。



赤・青・緑の3チームに分かれ、様々な競技で得点を競い合いました。

今回で第6回となる「さざなみコンサート」。およそ5年ぶりに体育館で盛大に開催しました。

6月15日(土)

ひたちなか交響吹奏楽団



歌謡曲やテーマ曲など全8曲を演奏。その他、パートごとの演奏で楽器紹介もありました。



「マツケンサンバⅡ」の演奏では、病院スタッフによるダンスチームとコラボ。



指揮者体験で院長が登壇。(←練習なし本番!)
会場中から大歓声が沸き上がる程、素晴らしい指揮でした!



ひたちなか交響吹奏楽団の皆さん、ありがとうございました。

玄関飾り



展示期間中、兜飾りの前で写真を撮りたいと申し出があり、対応させていただきました。
院内での写真撮影は禁止とさせていただいておりますが、何かご要望がございましたらどうぞお近くのスタッフまでお声掛けください。



患者さんや面会にお越しのご家族がご利用になる
エレベーター前にも設置させていただきました。 ↓



正面玄関と通路脇のテーブルに、短冊とペンをご用意しました。小さなお子さんがお願いごとを書き、お母さんと一緒に背伸びして飾っている微笑ましい様子を見掛け、とても嬉しく感じました。
これからも皆さんに四季の変化や風習を感じていただけるよう、続けていこうと思います。

お詫びとお知らせ

平素よりさざなみをご愛読いただき、誠にありがとうございます。

この度、諸事情により春季号の通常の編集・制作作業が困難な状況となり、第76号を春夏合併号とさせていただきました。春夏の期間中に様々な行事があり、ひとつでも多くご紹介したく、今回はページを増やして発行いたしました。

いつもご愛読いただいている読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、心からお詫びいたします。今後も変更が生じた場合は、随時お知らせしてまいります。なにとぞご理解くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

広報委員会

部門紹介「外来」

外来に来ている皆さんはお気づきかと思いますが、長年勤めていた安藤看護師が退職し、新たに2名の看護師が外来配属となり1年以上が経ちました。

もともとは病棟に勤務しておりましたが外来へ異動となり、医師と直接関わることも増え、他職種連携、電話対応、書類関係など慣れない業務に精進している毎日です。

新しい職員に戸惑う方も多くいらっしゃると思いますが、気軽に声をかけていただくと嬉しいです。

皆さんに少しでも寄り添って対応できるよう、心掛けてまいります。



新任職員紹介

令和6年1月～6月に入职したスタッフです。
よろしくお願いいたします。



令和6年2月



看護部
橋本 麗花

令和6年2月



看護部
川崎 楓

令和6年2月



看護部
芦田 萌

令和6年4月



看護部
清水 唯

令和6年5月



看護部
大野 結菜

令和6年5月



事務部
根本 知弥

診療案内

	月	火	水	木	金
精神科 心療内科	高沢院長	清水	高沢	三上	高沢院長
内科			佐藤 (診療応需)	佐藤 (診療応需)	
歯科			宮永		

診療時間

9:30~12:00 (受付 8:30~11:30)
13:00~16:00 (初診・予約診療のみ)

休診日

土曜・日曜・祝祭日・
開院記念日(3/1)
盆休(8/13~8/15)
年末年始休(12/30~1/3)

予約受付

初診の方は事前の予約が必要です。
ご予約のお電話は、平日のみ午前 9:00~11:30、
午後 13:00~16:30 に受け付けております。
他院からの紹介状がある方は必ずお持ち下さい。



汐ヶ崎病院
(代表電話)
029-269-2226

認知症疾患医療センター
(専用電話)
029-269-9017

汐ヶ崎ガーデン



春から夏にかけてたくさんの花が咲き、
実のなる木もあり、季節の変化を楽しむことができます。



「やまもも」ジャム

表紙・解説



表紙写真：ウワミズザクラ

バラ科の落葉喬木。
サクラの一種だが花が小さく目立たない。高さ約 10cm、葉は楕円形。
5 月頃白色五弁の小花を総状に配列する。和名は、古代の亀甲占いで溝を彫った板に使われたことに由来する。

撮影場所：青森県つがる市車力

撮影条件：CANON EOS 1Ds, EF180mm
F3.5L MACRO, f8, 1/64sec.

編集後記

7 月末に、当院の関連業者の会「みどり会」が企画した地引網が滝浜エメラルドビーチで開催されました。



会員の家族等も参加できるとのことで、私は娘とその友人たちも誘い、院長夫妻をはじめ職場の同僚たちと共に参加しました。私は久しぶりの、娘は初めての地引網でした。



網にかかった魚に大はしゃぎの子供たち、足だけのつもりが全身ずぶ濡れになった高校生たち、汗だく涙目で BBQ の鉄板と闘う仲間の勇敢な姿、仕事中には見ないパパ・ママの顔、業者の方々の業務中とは違う一面…終始笑いが絶えない、和やかな一日でした。
美味しい海鮮 BBQ も、娘の笑顔も、楽しかった夏の思い出です。

さざなみ委員：清水 由美子